

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム	よしの里
(ユニット名)	ユニット	2
記入者(管理者)	氏名	
	谷口 由香	
評価完了日	平成	20年 11月 27日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			家庭的な環境のもとで、あたり前に普通の生活をの理念を作っている。その理念を職員一人一人大切にしている。		これからも、あたり前の生活とは何か日々考えホーム全体で取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			事業所理念のもとに、利用者が地域の中で暮らし続けられるよう取り組んでおられる。		事業所は、さらに、今後も地域の方達との交流を大切に、地域に出向いて行ったり、訪ねて来てもらえるような事業所を目指していきたいと話しておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			今年度理念に向かっての取り組みについては、具体的な目標を作り、理念に沿うケアに努めていけるようにしている。		毎年目標を具体的にかかげ、その実践ができているか評価していきたい。
			(外部評価)		
			年4回行う全体の会議や毎月のミーティング、日々の申し送り時等で、理念に沿ったケアを実践できているかということを話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			面会時にご家族には最近の状況を伝えている。月一回の請求書送付の際にも近況を報告させて頂いている。又、ホーム便りの発行により、地域の方への理解に努めている。		地域の集まりに参加し、ホームとの交流を図っていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出掛けた際等、近隣の人達と挨拶を交わしたり、地区の行事に参加している。		近隣の方が事業所に立ち寄ってくれるようなことはまだ少ないように感じるが、今後もこちらから近隣の方との交流を図っていききたい。お月見やお花見などの行事に参加を呼びかけ、参加をしてもらえるようにし、それを足がかりとして地域との交流ができるようにしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭での旗立て、近くの公園にて地域の方と一緒に芋たき、公園のお掃除、亥の子、鹿の子など参加させて頂いている。		これからも地域での行事の内容を見ながら一人でも多くの方の利用者が参加出来るようにしていきたい。
			(外部評価) 地域の行事(いもたき、公園の掃除等)には、利用者も参加されている。カラオケ、習字、お茶等のボランティアの方が毎月来てくれるようになっている。運営者と管理者は、自治会の総会に出席されたり、ホーム便りの配布等、地域とかかわっておられる。		事業所では今後、地域の方が気軽に訪ねて来れ、一緒にお茶を飲みながらお話ができるような雰囲気作り、努めていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 広報等でも認知症、手洗いの仕方など分かりやすい形で伝えることによって、暮らしに役立つのではないかと思い取り組んでいる。		地域の方からの相談を待つのではなく、こちらから色々な方法で働きかけ地域に貢献できるように努めていきたい。また、相談を受けると答えられるように職員が勉強していく。
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価の意義をミーティングなどで理解し、事業所独自の色が出せるように努めている。		評価後、よりよいホームになる為、改善に向けて全体で取り組んでいきたい。
			(外部評価) 自己評価は、運営者及び全ての職員で話し合いながら取り組まれた。前回の評価結果を受けて、地域とのかかわりを深められた。又、この一年、運営者もともにケアの質向上を目指して協働された。		今後さらに、評価結果やご家族のアンケート集計表等をきっかけにして、さらなる貴事業所のケアの質向上に向けて話し合われてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議で活動状況の報告をすると共に利用者の 声を聞いて、助言を頂きながら質の確保に努めてい る。		運営推進会議で地域の行事などのお誘いなどして頂 き、老人運動会など参加させて頂いている。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の活動報告や職員研修の内容 等も報告されている。事業所の取り組みについて出席 者からご意見をいただき、運営に反映できるよう話し 合われている。地域の行事等の情報を得て、参加され ている。		会議に、より多くの方に出席いただけるよう、農繁期 等、それぞれのご都合も踏まえ、会議開催の日程を検 討していきたいと話しておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			管理者はネットワーク会議に参加し、市町村とともに サービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			市の担当者の方から運営推進会議のすすめ方のアド バイスをいただいたり、成年後見制度についての相談等 をされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			研修会に参加し職員一人一人学ぶ機会を作っている。 また、参加して学んだことをミーティングで報告し ホーム全体で理解に努めている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			研修やミーティングなどで、繰り返し学ぶ機会を作っ て虐待防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時本人、家族に十分な時間をとり説明し、ホームの中もよく見て頂き雰囲気を感じてもらい、理解・納得して頂いたうえで、契約を行っている。解約の際は話をよく聴き誠実に対応している。		契約前に何回も見学に来て頂いて、ホームの雰囲気や様子をもっと感じてもらえるようにしていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々の生活の中でのなげない会話などから、意見が言えるようにしたり、話しやすい雰囲気になるように、心がけている。		散歩や一緒にお茶を飲んだりする機会を増やし、利用者の方々の意見や要望をゆっくりと聞く時間を増やしていき、思いに答えられるようにしていきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月ポストカードを請求書と一緒に送り、暮らしぶりや健康状態を伝えるようにしている。面会にこられた際には細かく話すようにしている。金銭管理については出納を明確にして月末に収支報告書を送付している。 ご家族の来訪時や電話でご本人の様子を伝えたり、職員の入れ替わりがあった時には報告されている。年2回の家族会やホーム便りでも事業所の取り組みや利用者の暮らしぶりを報告されている。		なかなか面会に来られない家族に対してはもっと定期的に電話を入れるようにしていきたい。職員の異動は、ホーム便りにものせたらどうか
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会や家族が面会に来られた際に意見や要望を聞くようにしているし、玄関には意見箱が設置されている。また家族が気軽に意見が言えるような雰囲気づくりに努めている。出された意見や要望については職員間で話し合っ、改善すように努めている。 (外部評価) 春と秋に焼き肉や観月会等を催し、12月にはご家族も参加してホームの掃除を行っておられる。事業所では、ご家族同士のお話しの中での意見を運営に反映するよう努めておられる。家族会は、事前にアンケートを取り、ご家族の希望等を聞くようにされている。		職員が意見や要望を聞こうとしても、「お世話になっている。」と言う気持ちが強くなかなか意見や要望が出てきにくい。もっと気軽に言ってもらえる雰囲気作りをしていきたい。また、参考に話を聞かせてもらいたいというような問いかけをしてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者と職員とで全体ミーティングや毎月ミーティングを行い、意見を出しあえる機会が設けてある。また提案書を提出して、運営者、管理者から回答を行う話し合いも設けている。		ミーティングで話し合ったことは、会議記録に残したり、申し送りにて、職員間で共有できるようにしている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 職員は利用者や家族の要望があれば勤務の時間帯が変わることなどを了承している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者や家族との馴染みの関係を築くために、なるべく異動は避けるようにしている。日頃より1階2階関係なく馴染みの関係が作れるように努力している。		日頃から1階、2階の利用者、職員と分けるのではなく全体を1つと捉え、どの利用者とも馴染みの関係が作れるように声掛けなどしていきたい。
			(外部評価) 職員が入れ替わることでの利用者へのダメージを抑えるため、職員、利用者ともにユニット間で交流されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修には積極的に参加できる体制が整っている。またミーティングや申し送りに研修内容を報告するようにしている。		研修内容を聞いただけでなく、出来ることはどんどんやっていき、より良い介護が出来るようにしていきたい。
			(外部評価) 全ての職員が年2回は研修を受けられるようすすめておられ、研修後は、全職員に周知する仕組みを作っておられる。又、職員は、「新しい職員に日々のケアを教える事により、自分自身の見直しにもなる」と話しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 市内においてグループホーム協議会を設けており、研修会も定期的に行われており、職員はそれに参加し勉強をしている。また定期的な会合もたれており、他のグループホームとの情報交換が出来るようになってきている。		他のグループホームと交流することにより、良いところは取り入れたりして、よりよりグループホームづくりをしていきたい。
			(外部評価) 市主催のグループホームの集まりに参加し、研修や情報交換をされている。運営推進会議のメンバーとして相互に参加しあっている。時には、受診の帰り等に、利用者と共に他事業所に立ち寄ることもある。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員同士で悩み事やわからないことなどは、話し合ったりして日々ストレスをためないようにしている。また管理者が職員の話しをよく聴き助言をしてもらえる。		話し合うことでストレスの軽減が出来るので、一人が抱え込まないように日々話し合う場を作って行きたいし、職員間で話しやすい雰囲気作りをしていきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 行きたい研修には自由に行けるようになっているし、必要と思われるものには運営者が研修費のバックアップも行ってもらえる。		研修には積極的に参加し、介護の質の向上に努めたい。また、何か目標を持つことで、向上心を持って働けるのではないかな。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居される前には今までの暮らしぶりなどを、本人や家族から細かく聴き、職員に報告し、入居後不安なく生活できるようにしている。入居後はご本人さんのちょっとした表情や行動で不安や困ったことをわかるように見逃さないようにしている。		入居後はご本人から話を良くお聴きし、困ったことや、不安なことが少しでも軽減されるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談に来所された時にはゆっくりとお話を傾聴し不安に思われている事や求められる事などを話し易い雰囲気ですることができる様努めている。また入居されてからのホームでの様子をご家族に詳しくお伝えしご家族に安心して頂ける様努めている。		いつでも気易く話し掛けて頂ける様な雰囲気作りをこれからも大切にして行きたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人とご家族から詳しくお話を伺いに現在の状況や生活暦それから希望されている事柄などを参考にし、ケアプランを立てている。協力医療機関とも連携し相談している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) まずホームでの生活に慣れて頂く為にゆっくりとお話をする時間を持ったり、他の利用者の方達と一緒に楽しめるレクリエーションを行ったりしている。また料理や掃除、洗濯などご家庭でされていた事を続けて頂いたりしながら、馴染んで頂ける様努めている。ご家族の方には訪問して頂いた際に詳しく状況報告などし相談するようにしている。		ホームでの生活に慣れておられる入居の方が色々気遣って話掛けをして下さったり、分からない事など説明したりして頂いたりする事があるが、この様な係わり合いを大切にして行きたい。
			(外部評価) ご自宅から入居に至るケースも多くあり、ご本人、ご家族に事業所を見学いただくようすすめておられる。管理者は、電話で様子をつかっていたり、ご自宅を訪問し、関係作りに努めておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 家事全般においてできるだけ入居者の方々と一緒に仕事をし、出来た時の喜びを共有している。また人生の先輩として相談をしアドバイスを受けたり、いつでも手伝ってあげるのよと言って頂いたりする関係が築けている。		これからも職員は入居者の方に馴染みの人として、信頼して貰える関係を大切にして行きたい。
			(外部評価) 職員は、利用者から野菜の育て方や料理、掃除の仕方等、教えていただくことも多い。又、利用者同士が助け合う場面もあり、職員が気分が悪くなったような時にそばにいて、背中をさすってくださったこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ホーム内での行事や外出などに一緒に参加して頂いている。また訪問して頂いた際には近況を報告し、ご家族からお話を伺ったり、相談したりしている。		できるだけ訪問する機会を持って頂けるようご家族に働きかけたい。また気軽に訪問して頂ける様な明るい雰囲気作りに努めたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人、ご家族から伺った話などから関係の理解に努め、訪問して頂いた時にはゆっくり一緒に過ごして頂けるよう配慮している。場合によっては職員が会話の仲介をしたりする事もある。		ご家族と一緒に参加して頂けるような行事や機会をもっと持ちたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 地域の行事などに積極的に参加する事で馴染みの人との出会いやふれあいがあり、またドライブがてら馴染みの場所に行ったりもしている。		馴染みの場所に出掛ける機会をもっと増やして行きたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係が良好なものであるように、トラブルが起きる前に職員が間に入り仲を取り持ち関係が崩れない様努めている。		カラオケや体操、散歩など一緒に楽しめる機会を多く持つ事で利用者同士の関係をより深いものにしていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居された方のご家族とも、ホーム以外でお会いした時にでも挨拶したり、気軽に声を掛けて頂いたりしている。		これからも気軽に声を掛けて頂けるような関係を続けていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			できるだけご本人の思いや希望を理解し、それに添った暮らしをして頂けるように努めている。		ご自分で希望などを伝えられない利用者の方については、ご家族から意向を伺い、職員間でご本人にとってどういう暮らし方が意向に添ったものであるのか検討していきたい。
			(外部評価)		
			日々のケアや会話の中から、利用者個々の思いや暮らし方の意向を探っておられる。意思表示の少ない利用者からは、表情や反応等もみて把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			ご本人やご家族に生活歴や馴染みの暮らし方等について詳しくお話を伺う様にしている。また日常の会話の中でより詳しいお話が伺える様努めている。		入居前に生活歴を詳しく聞き取りまた、親戚や近所の方に伺える機会があれば生活歴についても聞くことに取り組んでいきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			毎朝バイタルチェックを行い、排泄についても一日の状態をチェックしている。また一人一人の心身状態や有する力等の現状を常に把握し少しでも変わった様子が見られる場合にはその都度話し合い職員全員が周知する様努めている。		利用者一人一人とゆっくりかわっていく事で小さな変化にも気付くよう努めたい。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ケアカンファレンスを行なう時にはできるだけご本人にも同席して頂き、ご意見やご要望など伺う様にしている。またご家族とも訪問された時や行事に参加して頂いた際にはできるだけご意見を伺う様にし、それぞれのご意見を汲んだ介護計画になる様努めている。		ご本人と職員、ご家族と職員といった形での話し合いになりがちなので、ご本人とご家族を交えて話し合う機会をもっと持つようにしたい。
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時や家族会時等、ご家族の思いを聞き取り、計画に採り入れておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月末にモニタリングを行い、見直しの機会を設けている。期間に応じた見直し以前に変化が生じた場合はその都度、関係者との話し合いを設け現状に即した新たな計画を作成している。		入院をされた利用者においては、退院後の様子をこまめに観察し、変化に応じて新たな介護計画を作成している。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)		
			介護計画の内容について、毎月職員で確認し合う機会を設けておられる。ご家族からの情報やご本人の状態に変化が生じた場合には、計画を見直すようにされている。		
			(自己評価)		
			個人別ケース記録に、日勤帯、夜間帯の状態と記入している。以前一覧表で表示していた排泄、バイタル、食事や水分の摂取量においても個人別に記録し実践や介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			買い物や散歩等、個別外出の支援を行いご本人の要望や希望に添えるような柔軟な体制を整えている。		個別に利用者さんの希望される美容院や理髪店に行っている。利用者さんのご家族が飲食店を開店された時、お店へ利用者と一緒に伺っている。
			(外部評価)		
			近くの美容院に行かれたり、お墓掃除やお参り時に同行することもある。公民館で、法人内の特別養護老人ホーム、デイサービス、グループホーム「合同ロビー展」を開き、利用者のちぎり絵や習字、押し花等の作品を展示された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方々の協力を得て、月に数回カラオケ、習字、押し花、のクラブや今年度初めて陶芸教室を行なっている。昨年に続き公民館ロビー展で作品の展示を行なっている。また年2回消防署の協力を得て避難訓練も行なっている。		地域の芋炊きや清掃に参加している。公民館ロビー展を行った際、見に来て頂いた方にご意見をノートに書いて頂いているので今後もロビー展を続けて行きたい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今のところ他のサービスの要望を聞かれたことはないが、必要に応じて対応していきたい。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	管理者は地域ケア会議への出席する等地域包括センターと協働している。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が医療機関であるが、ご本人やご家族の希望される医療を受診できるよう支援している。その都度結果を連絡しあうことにより納得されている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(外部評価) ご本人、ご家族の希望される病院での受診を支援されている。眼科、歯科はこれまでのかかりつけ医を受診されている。緊急時には、隣設の母体病院から看護師の方が駆けつけてくれるようになっており、母体病院に入院される際、職員が点滴等に付き添うこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師とは連携がとれ、昼夜問わず気になることは気軽に相談できる関係にある。また二ヶ月に一度看護師の協力を得て講習を受け日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		これからも定期的に講習を受け、医療に関する知識を広めていきたい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は医療機関、ご家族とも密に連絡を取り合い様子を聞くなどし、早期に退院できるよう働きかけている。		職員が病院の方へ行ったり、病院と相談の上状態の良い時にはホームで数時間過ごしたりして、早期退院できるよう努めている。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居の際にはご本人、ご家族より重度化したときや終末期について考えを聞くようにしている。またそうなった時にはその段階、段階でご本人、ご家族等や医療機関と話し合いを持ちその状態に応じた対応ができる環境を整えている。 (外部評価) 入居時、利用者ご家族と重度化や終末期について話し合い、希望をうかがうようにされている。母体法人医師は、よく事業所を訪れ、個々の様子を見ておられ、利用者、ご家族、職員の安心につながっている。		利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、方針をみなで共有し、今後、ご家族等とも話し合いを重ねていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関との連携は十分にとってあり、その方の状況に応じた支援体制はできていると思う。職員は本当の終末期を経験したことがない。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居時には、ご本人ご家族より、以前の生活について詳しく情報収集を行うようにしている。入居後は申し送りやカンファレンスで情報交換を行いダメージを最小限に抑えるよう努めている。		ご家族が来られて馴染んで頂けるよう馴染の家具や写真を持って来て頂いている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個人情報の保護については、経営者はよく理解しており、職員はミーティング等で話し合っただけで徹底するように努めている。記録等は鍵つきの棚に保管している。入浴時には入浴中の札をかけた後、電話はなるべく居室にて利用して頂いたりしてプライバシーを守り、言葉かけや対応に注意している。		トイレ誘導時の声掛けや失禁時の対応は、特に一人ひとりの誇りを損ねることなく自然に行えるよう、これからは気をつけていきたい。
			(外部評価) 現在、排泄の自立に向けた支援に力を入れて取り組まれており、トイレ誘導等をすすめ、利用者全員が布パンツを使用されていた。失敗した場合は、小さく声掛けされ、個々に配慮されていた。浴室には衝立を置き、入浴中の札をかけておられた。		職員は、利用者への声かけ等の研修を受け、日々のケアに活かしていこうとされている。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 普段のなにげない会話の中で本人の思いや希望を気兼ねなく話せるような雰囲気作りをしている。また自己決定においては個々の力に合わせた問いかけを行なっている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 御自分からの意思表示の少ない方については生活歴より、好きな事から声掛けを行なって行ったりして一人ひとりのペースを大切に。体調や希望に合わせて支援している。		散歩の際ペースや歩幅の同じ様な方同士で歩いて頂き、個々に無理のいかないよう支援していている。
			(外部評価) 調査訪問時、午前中、庭のベンチで過ごす方や髭を剃る方、食材の買い出しに行く方等の様子がうかがえ、職員は、利用者の状態もみながら、それぞれに合わせて生活を支えておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 朝どれを着ようかと迷われる方には2, 3着職員が選りその中から選んで頂いたり、TP0を考えてアドバイスしたりしている。また理容・美容についてはご本人のご希望に添うよう支援している。		今まで化粧等されていた方にはなるべく続けて頂けるよう支援して行きたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 栄養士が立てた献立を元に一緒に食事をしながら好みのおかず等を聞いたり、その人にとって特別な日や行事にあわせてメニューを立てたりしている。また食事作りや片付け等職員と一緒にして頂いている。 (外部評価) 食事の準備時、利用者は、野菜を切ったり、食材を混ぜたりと、ご自分に出来ることにかかわっておられた。使い慣れた箸や茶碗、湯のみを使用されていた。ユニット間で同じ献立を分担して作り、出来あがったものは利用者と職員で届け合い、交換されている。畑に野菜を取りに行ったり、後片付けや食事時の挨拶等も利用者がされ、みなで、楽しい雰囲気のもと食事をされていた。		食事作りの全行程をして頂ける方があり、これからも長く作りつづける事ができる様役割意識を持って頂き負担にならないよう支援して行きたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 買い物に出られた際、ご自分で選んでおやつ等買って頂いたりしている。また酒類については行事のときなどに声掛けをして楽しんで頂いている。		行事以外でも普段からお酒等、お好きな方には楽しんで頂ける様支援して行きたい。
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を作り、排泄パターンの把握に努め個別に声掛けを行っている。排便においても食事の工夫や水分量をふやしたりして、なるべくスムーズに排便できるよう支援している。		排便を促す為、朝起きられた時に水や牛乳をお勧めしたり、体操を行ったりしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			お一人一人のご希望をお聞きし、曜日や時間を調節しなるべく好きな時に入れるよう支援している。		入浴をおすすめしてもなかなか入られない方もいらっしゃるが、最近では積極的ではなくても入って頂けるようになってきている。これからも安心して入って頂けるよう言葉掛けに注意して支援して行きたい。
			(外部評価)		
			お風呂がお好きな方が多く、利用者個々の好みの湯加減に配慮し、入浴剤を使うこともある。時には、利用者同士で入ったり、職員と楽しくお話しをしながら入浴されている。利用者の好みのシャンプーや石けんを使用されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			お一人お一人の状態にあわせ、日中居室にてお昼寝して頂いたり、ソファにて横になって頂いたりしている。又、散歩や体操などを取り入れる事によりよく眠れるよう支援している。暖かい日にはふとんを干している。		寝られる前に足浴をおすすめしたり、利用者様の寝られる時間にあわせてエアコンをつけ夏は涼しく、冬は暖かくと気持ちよく休まれるようこれからも細かな心配りのある支援を心がけたいと思っている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			お一人お一人の生活歴や力を活かし、縫い物、編み物、食事作り等、役割を持って生活して頂いている。又、お祭りや季節ごとの行事への参加、喫茶店やお店での飲食など希望をあわせて個々に支援している。		御本人が書かれた絵や、習字などの作品を飾り、他者と話をされる事により一層の意欲が引き出されるよう支援を続けて行きたい。又、城川のかまぼこ板展への出品やロビー展の開催などこれからも続けて行けたらと思っている。
			(外部評価)		
			利用者、職員で居室の掃除は毎日されており、ご自分で洗濯物を手もみ洗いされる方もいる。習字や俳句、貼り絵を楽しまれる方や食事時「感謝していただきましょう」と挨拶して下さる方もいる。こだわりの化粧品でおしゃれに気を配っている方やハーモニカを吹いて皆さんと歌を歌うことを楽しめる方もいる。毎朝、お位牌にお茶とをされる方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			職員は本人がお金を持つ大切さを理解しておりお一人お一人の希望、能力に応じて所有していただいている。買い物に出掛けた際には個別の財布より支払いして頂くよう支援している。		お一人お一人お金を持って支払いできる力を忘れないよう、これからも支援を続けていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			庭のベンチにて日なたぼっこをしたり、花植えや水やりなどをしてもらったり、散歩やドライブ、買い物や外食などをしに出掛けたりしている。また、地域の行事等にも積極的に参加している。		外出があまり好きではない方にも楽しんで頂ける様な取り組みを考えていきたい。
			(外部評価)		
			芝生の庭での日向ぼっこや散歩、近くのスーパーへ歩いて買い物に行かれたり、季節を楽しむ外出の際には、ご家族の方々にも声をかけて一緒に楽しまれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			日常の会話より、行きたい場所や、食べたい物などをお聞きし、外出先に取り入れている。またご家族が都合の良い時などは参加して頂ける様お誘いしている。		昨年同様、城川町かまぼこ板展覧会に出掛けたり。三間町ヘコスモスを見に出掛けたり。観音水へそうめん流しを食べに出掛けたりしている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話や手紙など利用者様の希望によって支援している。できない部分は職員がお手伝いするようにしている。		手紙など遠慮される方には、月1度請求書を送付する際に、書かれる様促していきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			職員全員が気持ちよい挨拶と親しみやすい笑顔を手がけ、いつでも気兼ねなく来て頂ける様な雰囲気作りを行なっている。また、ご利用者と共にゆっくりと過ごして頂ける様、居間も開放して利用していただいている。		これからも家族の方たちが、気持ちよく足を運んで下さるようなホーム作りに努めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 現在当ホームにおいては身体拘束の必要性はないが、身体拘束はしてはいけないことを全職員は正しく認識しており、身体拘束をしないケアを行なっている。		これから先、身体拘束の必要性がでてきたとしても、基準の法律を常に理解して取り組んでいきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中。鍵をかけることなく、ご利用者一人一人がどこにおられるのか職員全員が把握するようにしている。また不穩時にはある程度の距離を保ちながら見守りを行ったり、気が紛れる様な関わりを行なっている。		ご利用者が帰宅願望などがある場合、散歩やドライブを兼ねて、ご自宅付近へ行き安心していただける様な配慮を行なっている。
			(外部評価) 門は、国道に面しているが、安全に配慮し、開放されており、玄関にも鍵は掛かっていない。庭の木戸も、いつでも出入り出来るようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ご利用者の気分を察しながら距離をはかり、一人一人がどこにおられるのか、職員全員が把握し安全に過ごして頂ける様見守りを行なっている。		職員一人一人が、センサー音などに頼らず、利用者全員がどこにおられるのか、目で確認し、誰の居場所を聞かれても即座に答えられるようにしておきたい。また職員同士の声掛けを強めていきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬・包丁・針・お金等の管理方法は職員全員が把握している。ご利用者には、個別の能力に応じてご自分で保管していただいているものもある。		これからも使えるもの使えないものを把握して、個別に管理できるように取り組んでいきたい。また、使用後の確認を(針の本数など)きちんと行なっていきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 年2回火災等を想定して避難訓練を行なっている。緊急事態の対応について、職員で話し合い、連携が取れている。事故が発生した場合には、事故報告書やひやりハットと等において報告し、皆でミーティングを通じて再発防止に取り組んでいる。		薬の管理ができない方が多く、飲み間違いがないよう手渡しをして飲み終わるのを確認している。また行方不明者マニュアルを作成し、突然の出来事にも対応できるようにしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 協力医療機関が近隣にあるため常に相談しやすい体制が整っている。また、母体の看護師により、2ヶ月に1度指導や講習をしていただき、事故発生時に対する備えを行なっている。		自主的に研修に行くなどし、知識を身につけて行きたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災、地震共にマニュアルがあり、消防署の協力を得て年2回職員ご利用者全員での訓練を行なうことにより、防災意識を高めている。また月に1度、利用者全員が安全に避難できるような方策はないか話し合う機会を設けている。近隣の方々には、運営推進会議や自治会を通じて協力を得られる体制でいる。 (外部評価) 自主的に避難訓練に取り組みされており、毎月、避難口の確認と非常階段を安全に降りられるように練習されている。地域の方々にも、自治会の総会や運営推進会議を通して、協力の依頼をされている。		これからも、いろいろな角度、視点でいつ起きるか分からない災害に対しての避策を考えていきたい。また災害訓練などにも、地域の方の参加を促していきたい。 地域の方々に事業所の建物の構造を知っていただいたり、災害時、地域と協力し合えるような体制作りや事業所のできることにしても話し合ってみてはどうだろうか。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居者一人一人の御家族に起こり得るリスクについてきちんと話し合えるように努めている。また、面会時には日頃の状態などをお話ししたり、不安に思うことや気になることは言っただけの様な雰囲気作りを行なっている。遠方の御家族には定期的に連絡を取るようになっている。		運営推進会議にてご家族には転倒などは誰にでも起こるか分からないことを説明している。また、これらもご家族が安心して信頼できる様、これらも密な関係作りに努めて行きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝バイタルチェックを行なっているが、それだけに頼りすぎず、日頃の状態を全職員が把握しており、少しでも様子に変化があれば、話し合うようにしている。また、状態によっては、協力医療機関への報告を行なって指示を仰いでいる。		御利用者の小さな変化を見逃さぬよう日頃の関わりを大切にしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員はどのような薬を飲んでいるのか覚えており、事務所内に服薬リストが置いてあり、いつでも確認できるようにしている。服薬際にはご本人の薬であることを良く確かめ渡している。		薬の内容に変化があった場合には、申し送りし職員全員がわかるようにしている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 職員は便秘から不穏状態が起こることなどをわかっており、水分補給(冷たい牛乳)運動、食物繊維の多い献立を取り入れることで自然排便を促すよう努めている。		冷たい牛乳や水分補給、体操などで排便が促せるようにしていきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後ご本人が行うようにしている。忘れていた方には職員が声掛けし行い、磨き残しは支援するようにしている。夜は職員がお預かりするようにしている。		義歯があわないなどの訴えがない場合もあるので、職員が気を付けて行きたい。今後は協力医療機関の歯科医師により1ヶ月に1度程度検診を行なっていく予定である。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が立てた献立を元に利用者のかたの希望も取り入れた食事に行っている。また、ご本人の食べる量を見極めるようにしている。 (外部評価) 職員は、一人ひとりの「食べられる量」を把握し、その人に合った量を準備されている。食事時、お茶のお代わりを聞かれたり、居室には、急須等でお茶が準備されていた。		食べる量は職員が見極めたり、ご本人さんから訴えがある場合に調整をするようにしている。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 手洗いうがいを習慣付けるようにしている。毎年インフルエンザの予防接種も欠かさず受けている。毎日、台所用品、手すり、洗面台、トイレは消毒して感染症を予防している。		協力医療機関の看護師による勉強会を開いたりして感染症について勉強している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食器、調理器具はきれいに洗い、清潔が保てる場所に保管するようにしている。食材は町内の業者から購入したり、ホーム内の畑で取れた新鮮で安全な物を使用している。		まな板、ふきんは毎日消毒し清潔にしている。また、畑の野菜は無農薬で新鮮な物である。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関の表札を手作りにしたり、季節の花を植えたりして、暖かい雰囲気を作り出すようにしている。庭にはベンチが置いてあったり、門がいつも開放してあるため、気軽に入れるようにしている。		仲良しの方が通られたりすると、気軽に声をかけて頂くことがある。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居間のテレビの音が高くなりすぎないように、気を付けている。季節の花を飾ったり、壁面を飾ることで、季節感を味わえるようにしている。		季節の花を飾ったり、壁面をすることによって利用者さんと共に、季節感を感じていきたい。
			(外部評価) 今年の干支や節分の貼り絵、利用者個々の習字や俳句の作品も飾られていた。手作りの大きな日めくりカレンダーは、利用者とともに毎日めくっておられる。2階ユニットは、こたつがあり、テレビは、普段、好きな番組だけを楽しむようにされている。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間ではソファや冬場はこたつも置いてあり、ゆっくりと誰でも誰とでも過ごせるようになっている。		共用空間ではひとりになれる場所がとれない状態である。どこかに場所の確保が出来るといいと思う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			馴染みの家具や仏壇を持ってこられたり、ご家族の写真やお好きな芸能人の写真を飾ったりされている。		写真を貼ったり、カレンダーを作成したりご利用者が作られた物を飾っている。
			(外部評価)		
			居室には、ご本人の使い慣れたタンスやワゴン、テレビ、仏壇等が持ち込まれており、壁には、パステルカードや手作りのカレンダーが飾られていた。好みの洋服や化粧品等がある居室もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			季節や気温ご利用者の状態に合わせて、こまめに換気を行うようにしている。また空気が乾燥するときは加湿器を使い快適な湿度が保てるようにしている。		こまめに換気をすること（換気扇、窓の開放等）で、においをなくしていきたい。
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			居間、廊下、浴室には手すりがある。また浴室は滑りにくい工夫がしてある。段差もないため安全で自立した生活が送れるようになっている。		身体機能が低下した時に浴室の中に数ヶ所手すりがあれば良いと思うところがあり、検討して行きたい。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			一人ひとりのわかる力を把握し、混乱や失敗を防げるように、トイレには花を飾ったり、浴室にはご利用者と一緒に作った暖簾をかけている。		一人ひとりのわかる力を把握していきたい。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭は芝生が植えてあり、ベンチも置いているため日光浴が出来ご利用者同志で話が出来たり、歌を歌ったりすることが出来る。そうめん流し、夏祭り、お月見の会食に使っている。		芝生とベンチがあることで、庭が使い勝手の良いものになっていると思う。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ②) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員一人一人利用者に日々何かしたいことはないか聞いたり、今までしていたことをホームでもしたい方にはして頂いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ②) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	業務にとらわれることなく、利用者の生活が一番だと考えゆっくりと過ごす場面を作るように取り組んでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ①) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人一人のペースで暮らせるよう関わっているが、手助けのいる利用者同士が動き始めるとどちらかに待って頂かないといけない場面がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己 ②) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	表情が生き生きしているのを見ると、職員一人一人良かったと思う。これからも利用者が心から笑えるホームにしていきたい。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ①) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の関わりの中で、行きたいところなど聞き、外出の機会を作って取り組んでいる。現在外出の機会は利用者一人一人増えていると思う。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関のかかりつけ医が定期的に訪問し異常がある時には受診し、利用者は不安なく過ごせている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己 ②) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できていると思うが、柔軟な支援という面であり、その状況や要望に応じた支援をしていけたらと思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己 ②) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	管理者、職員は家族との信頼関係ができるよう努めているが、これからは家族が本音が言える雰囲気作りをしていきたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ①) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	毎日とはいわないが、誰かがホームに訪ねて頂き嬉しく思う。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) ② 1 大いに増えている 2 ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	少しずつではあるが、以前より運営推進会議での参加者が増え、理解者や応援者が増えているのではないかと思います。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が 2 ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出勤時、状態が悪い方がおられると、不安が先に立ち活き活き働く自信がない時もある。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	満足しているところもあると思う。しかし、利用者の立場で考えると今のサービスだけではなく、色々なサービスを提供できるようにしていきたい。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	「よくしていただきありがとうございます。」と言って頂く場合もあるが、利用者、家族が求めているものはその上にあるのではないかと思います。ケアの質の向上に努めていきたい。また職員が活き活き働いていると家族の方も安心できるのではないだろうか。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

グループホームよしの里はかつての吉田藩三万石の陣屋町の面影が今なお残る吉田町魚棚の一角にあります。協力医療機関岩村外科胃腸科に隣接し、徒歩2,3分の位置に本町商店街や郵便局、銀行、スーパー、庭には季節の花々が咲いており利用者の方の生活にとっても良い環境だと思います。また、宇和島バス長栄橋停留所から50メートル(徒歩1分)という場所にありご面会、ご訪問にも便利です。

そして、今年度 家庭的な環境のもとで当たり前で普通の生活をの理念に沿った2階独自の目標を掲げ、職員がより理念に近づいていけるようにしてみました。また、今まで以上に外出支援を行い、利用者の方に楽しんで頂く機会を増やしました。目標として出来ることは継続して出来るようにし、出来ないことも可能性を見出しどうすればいいのか職員が検討し合いながら、個々にあった支援をしていきたいと思っております。